

新型コロナウイルスの影響による「東京 2020 オリンピック（以下『東京大会』という）」の延期を、誰が予測できたでしょうか。三菱総合研究所（以下『三菱総研』という）は、「『復興五輪』とも呼ばれる東京大会を迎えるにあたり、福島県の復興状況や放射線の健康影響に対する（都民の）認識をあらためて確かにする必要がある」と考え、都民（20～69歳の男女千人）を主な対象にしてアンケート調査を計画し、その第1回目を2017年8月に、また第2回目を東京大会が近づいた昨年6月に実施しましたⁱ。東京大会の延期は残念でした。しかし第2回目の調査で、放射線影響への理解が進んでいない実態が浮き彫りになり、今後の検討課題が見えてきました。

ゆりちゃん：放射線影響への理解が進んでいない実態って、どんな状態なのですか？

クさん：三菱総研の第2回目の調査結果の報告ⁱⁱの第5章「東京 2020 大会を見据えた提言」に書かれた「調査結果から得られた示唆」の中に次のような文章があります。「①福島県の現状や事故による放射線の健康影響に対して理解は進んでいるものの、2年前（第1回目の調査結果）と比べて大きな改善は見られない。②2019年調査の時点においても約半数の東京都民が、最新の科学的な知見とは異なり放射線の次世代への健康影響を懸念している。このような懸念が続くと、国内の一部に差別や偏見の意識が根付いてしまう恐れがある。」ゆりちゃん、これで理解してもらえましたか？

ゆりちゃん：この事実を裏付ける調査結果（データ）を見せてくれませんか？

タクさん：やっぱり「定量的」な説明が必要ですね。該当するデータは、第2章「2019年調査の結果」に書かれた「放射線の健康影響に関する東京都民の理解」の中にとりまとめられています。データは、①放射線による福島県民（後年）への健康影響に関する東京都民の意識、および②放射線による福島県民（次世代）への健康影響に関する東京都民の意識、に分けて整理されています。まず図1を見て下さい。これは①のアンケート結果です。「現在の放射線被ばくで、後年に生じる健康障害（例えば、がんの発症など）が福島県の方々にとどのくらい起こると思いますか？」という質問に対して、4つの選択肢（（1）可能性は極めて低い、（2）可能性は低い、（3）可能性は高い、（4）可能性は極めて高い）を選んでもらい、その結果を棒グラフ（%）で表示したものです。第1回調査（2017年）および第2回調査（2019年）に分けて図示されています。次に図2を見て下さい。これは②のアンケート結果です。「現在の放射線被ばくで、次世代以降の人（将来生まれてくる自分の子や孫など）への健康影響が福島県の方々にとどのくらい起こると思いますか？」という質問に対して、①の調査と同様に回答してもらった結果です。三菱総研は、これらの結果を比較して、『後年への影響』も『次世代への影響』も、『可能性が高い』とする回答の割合（選択肢3、4の合計）が減少（前者の『後年の健康障害』は7.0ポイントマイナス、後者の『次世代以降への健康影響』は8.4ポイントマイナス）し、『可能性が低い』とする回答割合（選択肢1、2の合計）は、いずれの場合も『半数』を上回った」と評価しました。

ゆりちゃん：「放射線の健康影響」に関する見解をもう一度、整理して教えてくださいませんか？

タクさん：三菱総研は、上記の「放射線の健康影響に関する東京都民の理解」の最後のパラグラフで、次のように結論しています。「原子放射線の影響に関する国連科学委員会（UNSCEAR）は、放射線の健康影響に関するさまざまな科学データを検討しており、（福島第一原子力発電所）事故に起因する放射線

ⁱ 第1回目の調査結果については既報のコラム(134)、(135)、(136)を参照

ⁱⁱ https://www.mri.co.jp/knowledge/column/dia6ou000001qdm3-att/MTR_Fukushima_1911.pdf

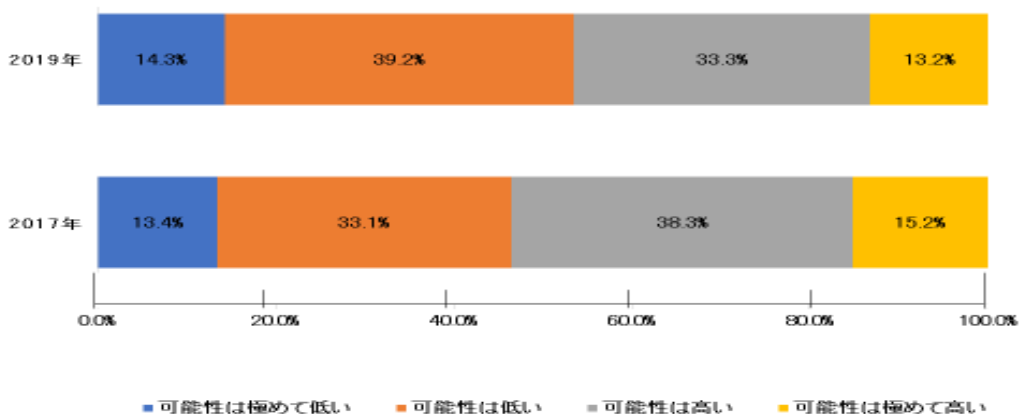
被ばくについては、後年に生じる健康障害および次世代以降の人への健康影響は予測されないと報告しているⁱⁱⁱ。しかし、このような最新の科学的な知見に対する理解が十分に進んでいないことが2017年調査で明らかとなった。2017年調査においては、現在の世代だけでなく次世代にも健康影響があると過半数が考える状況が、福島県民に対する誤った先入観や偏見を生み出す可能性も指摘した。今回の結果からは、2017年調査時に比べて事故による放射線に起因する健康影響に対する理解が浸透し、状況が徐々に改善しつつあることが分かった。一方で依然として次世代影響の可能性が高いと回答した割合が4割以上となっており、偏見や差別を生まないような対応が今後も重要である。」

ゆりちゃん：福島県では今も、胎児・子どもへの放射線影響を心配する人は多いのでしょうか？

タクさん：ところがそうではないのですよ。子どもを産み育てようとする妊産婦の方々の気持ちが広く伝わっていないようです。次回に説明しましょう。 (原産協会 人材育成部)

図1 放射線による福島県民(後年)への健康影響に関する東京都民の意識

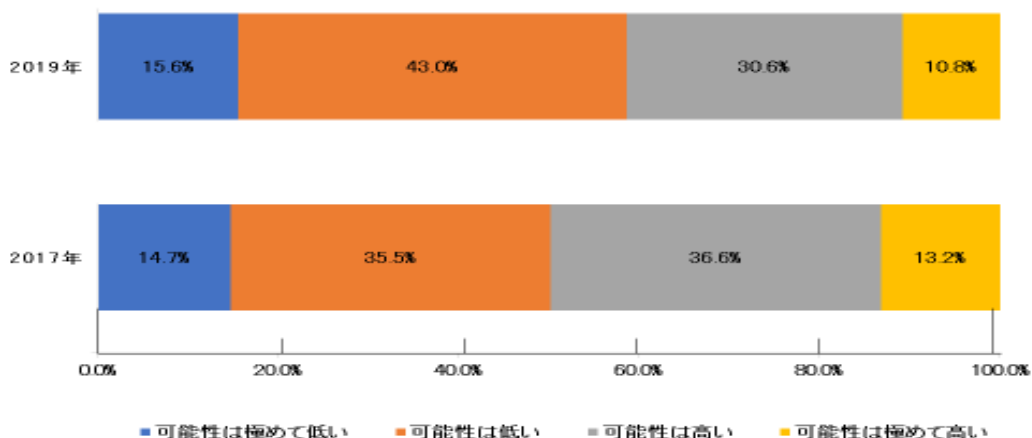
質問：現在の放射線被ばくて、後年に生じる健康障害(例えば、がんの発症など)が福島県の方々にどのくらい起こりますか？



(参考) https://www.mri.co.jp/knowledge/column/dia6ou000001qdm-att/MTR_Fukushima_1911.pdf

図2 放射線による福島県民(次世代)への健康影響に関する東京都民の意識

質問：現在の放射線被ばくて、次世代以降の人(将来生まれてくる自分の子や孫など)への健康影響が福島県の方々にどのくらい起こりますか？



(参考) https://www.mri.co.jp/knowledge/column/dia6ou000001qdm-att/MTR_Fukushima_1911.pdf

ⁱⁱⁱ https://www.unscear.org/docs/publications/2016/UNSCEAR_WP_2016_JAPANESE.pdf

